

『自分の未来を考えるキャリア教育』 ～富士北稜高校とのキャリア教育連携～

1 目的と経緯

富士吉田市小中高連絡会議の中で、キャリア教育の一環として高校見学が提案された。吉田西小学校は北稜高校が学区内にあり、歩いて見学に行けることや過去には2年生が探検させてもらった経緯があったことから、本格的に高校見学を計画した。令和5年度で3年目を迎える。

小学生の経験や社会的視野は限られていて、自分の将来を現実的に考えることはまだ難しい。小学校6年という節目の年に、自分を取り巻く社会や職業と自分の特性・役割について考え、職業観・勤労観を学んでいくキャリア教育において、将来どう生きていくのか少しずつ考えさせる。校区内にある富士北稜高校とのパートナーシップを築きながら、キャリア教育を進めていく。

2 内容

北稜高校には「福祉健康」「総合ビジネス」「電気情報」「機械テクノロジー」「建築デザイン」「教養」の6つの系列があり、進路に合わせた実習が行われている。6年生は各系列の中から自分が見学したい系列3カ所を決めてグループ編成をした。当日はそれぞれのグループに高校3年生で西小卒業生が2名ずつ付き案内をしてくれた。

実習見学の後は、大ホールに集まり、高校生との質問タイムがあり、6年生からは「どんな実習が楽しいですか」「進路を決めたのはいつですか」「どうしてその進路を決めたのですか」「卒業したらどんな仕事をするのですか」などたくさんの質問が出された。



3 成果と課題

基礎的学習を学んでいる6年生には北稜高校で実践的に学んでいる高校生の姿や、そのために充実した施設が整っている高校は大変刺激になった。高校生の中でも中学生のうちに自分のやりたいことが決まっていたと答えた生徒もいれば、高校1年生の実習を通して自分のやりたいことを見つけたと答えた生徒もいた。進路選択の実体験を生々の声で聞いたことや「今の基礎学習を身につけることが大切だ」という話は今後の学校生活にも活かされる体験となった。

中には将来を考えられない児童や系列とは違う目的を持っている児童もいる。北稜高校の見学を一つのきっかけとして、将来の姿を思い描きながら、今自分に出来ることを考えさせたい。

